

生活者ネットニュース 118号



発行 多摩・生活者ネットワーク／発行責任者 原田恭子／連絡先 〒206-0014 多摩市乞田 1227-1-112 番地／TEL 042-376-5758
FAX 042-376-8854 ■ホームページ <http://www.tama-net.jp/> ■E-mail office@tama-net.jp

未来の市民社会を描きながら...

多摩・生活者ネットワークは これからも政治に取り組みます！

多摩・生活者ネットワークが多摩市に生まれた1982年といえは国の高度成長と呼応してニュータウン建設が進み、人口が10万人を突破したころです。当時ニュータウンはベッドタウンと言われ企業戦士の夫を都心に送り出し、女性は子育て教育など、地域活動を一身に担いました。一斉入居で増えた人口はがらみを超えた関係を生み出し、市民活動が花開いた時期でもあります。

政治の場に ヒーローはいらない！

今、決められない政治家に対して国民のいらがが増しています。その結果、威勢よくきつちり言える政治家が注目を浴び、マスコミが取り上げヒーローをつくり上げます。そこに大きな落とし穴があるのです。

時間の経過によって、つくり上げたヒーローの脆弱さが露呈し、またもや市民は政治に失望してしまふという悪循環。ここから抜け出さなくてはなりません。

市民の暮らしを守るために政治があるなら、日々の暮らしの

中から課題が見えてくるはずで、生活者ネットワークはここにこだわり、絶えず新人を議会に送り込むルールをつくり出しました。1983年から今までに、このルールのもとで9人の女性を多摩市議会に送り出してきました。納得できるまちづくりを進めるには誰かに頼むのではなく、自分たちで実践していくことこそ求められるのです。

未来に 責任を持つということ

高度成長期には行政サービスもどんどん広がりましたが、近年は景気の下落によって財政が厳しく、対応できなくなり悲鳴をあげています。これからは行政とは何かを問い直し、事業の精査、新たな時代への対応が迫られています。だからこそ「大事な事は市民が決める」仕組みが必要なのです。

市民が政治を自分の問題として考え決定すればその責任も「市民」にあります。もうまちづくりの失敗を人のせいにはできません。今年参加した原発の是非を問う直接請求の意味もここにあるのです。生活者ネットワークの「市民参加」とは不満ばかりをぶつけるのではなく自治することの覚悟・重さを示しているのです。



1991年の市議会議員選挙で新井美沙子と原田恭子(中央)を議会に送り出した。笑顔がいっぱいのお祝いの会！



7/16に代々木公園で行われた「さようなら原発10万人集会」には全国各地から17万人が集まった

募集!!

30周年記念イベント
私の好きな多摩市の風景

将来のまちづくりの
イメージを共有しよう

生活者ネットワークの運動を多摩で展開して30周年を記念し、より多くの人に参加してもらい将来のまちづくりのイメージを共有しよう。今、「私の好きな多摩市の風景」の募集をしています。

それはどんな風景でもかまいません。むしろハード的なものよりその風景をいとおしいと思っている人の心情が読み取れるものが出てくることに期待します。

市民は十人十色、それぞれの選んだ風景から何が見えるでしょうか。コミュニケーションを積み上げましょう。ここからまちづくりはスタートします！

(切り取り)

郵便はがき

206-8790

234

多摩市乞田

一二二七一一一一

多摩・

生活者ネットワーク行

(切り取り)

料金受取人私郵便

多摩支店承認

2692

差出有効期間
2014年7月31日
まで
(切手不要)



性別	女・男	年齢	年代
ご住所	〒		
お名前			

「私の好きな多摩市の風景」アンケートはがきは切り取って郵便ポストにお出し下さい。